



No.21-011
2021年 3月 8日

安保破棄中央実行委員会

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町 2-11-13
TEL03-3264-4764 FAX03-3264-4765

馬毛島の基地建設は許さない

環境影響評価方法書への意見書の送付を

政府・防衛省は、1月31日の西之表市長選挙で馬毛島の基地化反対を掲げた八板俊輔市長が当選したにもかかわらず、馬毛島の基地建設に向けて環境影響評価(アセスメント)の手続きを2月18日から開始しました。

この環境アセスメントは、新基地建設の是非を判断する材料を得るためのものではなく、基地建設を強引にすすめるためのお手盛りの作業です。

私たちは、現地の訴えに応え、馬毛島への基地建設に反対するたたかいの一環として、各団体と個人から意見書を送る運動を呼びかけます。環境影響評価法にもとづく意見書を誰でも送ることができます。

「馬毛島基地(仮称)建設事業に係る環境影響評価方法書」は、九州防衛局のホームページから閲覧できます。

1 意見書の受付はすでに始まっており、締め切りは4月1日(木)です。(郵送の場合、当日消印有効)

2 意見書は、次の項目を記載していれば、様式は自由です。

① 意見書を提出する者の氏名及び住所(団体の場合は、名称と代表者の氏名及び主たる事務所の所在地)



馬毛島の自然を壊すな

② 意見書の提出の対象である方法書の名称

「馬毛島基地(仮称)建設事業に係る環境影響評価方法書」と記載してください。

③ 方法書について環境の保全の見地からのご意見

馬毛島基地建設に反対の思いを率直に記載し、「だから方法書に反対する」と書いてください。別記の参考例をご活用ください。

3 意見書の送付は、右記の送り先に郵送、ファクス、メールすることができます。

4 送付した意見書の数を可能な限り集約し、安保破棄中央実行委員会にお知らせください。

<意見例>

○1月31日の西之表市長選挙で、「失うものの方が大きい」として馬毛島の軍事基地化反対を掲げた八板俊輔氏が当選したことをふまえ、馬毛島の軍事基地化に向けた環境アセスははやめてください。

○馬毛島に米空母艦載機の離発着訓練(FCLP)基地が造られれば、深夜3時までの訓練が行なわれ、種子島(1市2町)全体が人の住めない島になってしまいます。

○馬毛島に基地が造られれば重要な産業の観光業が成り立たなくなり、周辺海域の漁場が失われ、漁民が生活の糧を失います。

○基地建設は、馬毛島の固有種であるマゲシカなど希少生物の絶滅が懸念されるとともに、馬毛島の先人の歴史の足跡も消されます。

○沖縄の石垣島や宮古島への自衛隊ミサイル基地建設など、菅政権がすすめている南西諸島での一連の軍事強化は、アメリカの対中戦略の肩代わりであり、南西諸島を戦争に巻き込む危険なものであり許されません。

以上の理由で、環境アセスの中止を求める立場からこの方法書に反対します。

<送り先>

〒862-0901 熊本市東区東町1-1-11

熊本防衛支局 建設計画官付

TEL:096-368-2173 FAX:096-368-6970(9~17時、土、日、祝除く)

Mail: ks-km-tyoutatsu@kyushu.rdb.mod.go.jp